



“Shagaku” Colloquia
Faculty of Social Sciences
Hosei University

39



法政大学社会学部 「社学コロキアム」第39回

“Make More Noise!”

——サフラジエットと初期映画の時代

報告= 高 美鶴 (法政大学社会学部教員)

討論者= 高橋 愛 (法政大学社会学部教員)

司 会= 鈴木 智道 (法政大学社会学部教員)

2026年1月13日 [火] 16:00~18:00

法政大学多摩キャンパス・社会学部棟 304 教室
+ Zoom によるオンライン配信

【趣旨】 20世紀初頭、イギリスで女性参政権運動が再燃した時期は、映画の誕生とその産業・文化の黎明期と重なっていた。このような社会・文化的な背景のもとで、「サフラジエット」として知られる女性社会政治同盟 (Women's Social and Political Union, WSPU) の過激派女性参政権運動家やその活動は、ニュース映画やフィクション映画に頻繁に登場するようになる。女性参政権運動のスローガン「Make More Noise! (もっと声を上げよ)」は政治的沈黙を破る呼びかけであったが、当時の無声映画の世界でも彼女たちはさまざまな「ノイズ」を生み出していた。サフラジエットは多くの場合、社会秩序を乱す存在として風刺的に描かれ、笑いの中に当時の社会が女性の自立に抱く不安や動搖が映し出されている。一方、1911年の『True Womanhood』は、サフラジエット自身の主導による英国唯一の映画であり、幻灯の活動を引き継ぎつつ、無声映画に自らの声を刻もうとした画期的な試みである。本発表は、当時の映画資料や新聞記事などのアーカイブ資料をもとに、こうした初期映画におけるサフラジエット像と彼女たち自身の映像実践を対比させ、映画という新しいメディアが女性の政治的主体性をどのように映し出し、また形成していくのかを明らかにする。

主催=法政大学社会学部学会

参加=無料 (他学部・他研究科・一般の方もぜひどうぞ)

オンライン参加= ミーティング ID: 852 4783 4490

パスコード: 057681

問い合わせ先=法政大学社会学部事務課

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学社会学部事務課 気付 TEL: 042-783-2351

Photos, the logos and layout design © 2009-2025 by Saburo Horikawa. All rights reserved.

1952 2022
HOSEI UNIVERSITY
70TH ANNIVERSARY
FACULTY of SOCIAL
SCIENCES 1952-2022
社会学部
開設70周年